





## スポニチファミリーハイク

### 京都洛北・世界遺産めぐり 下鴨神社と上賀茂神社へ

【赤の宮神社（あかのみやじんじゃ）】正式名称：賀茂波爾神社（かもはにじんじゃ）

御祭神は波爾安日子神（はにやすひこのかみ）、波爾安日女神（はにやすひめのかみ）。万物の生成発展、殖産興業をはじめ方徐け、火災、災難、疫病、厄除け等の信仰が篤い。現在は下鴨神社の境外摂社で、御蔭祭では路次祭が行われ舞楽「還城楽（げんじょうらく）」が奉納される。

【下鴨神社（しもがもじんじゃ）】正式名称：賀茂御祖神社（かもみおやじんじゃ）

御祭神は玉依姫命（たまよりひめのみこと）、賀茂建角身命（かもたけつぬみのみこと）。世界文化遺産。国宝の東西両本殿のほか、重要文化財多数。「糺の森」の広大な境内は国指定史跡。

京都の社寺では最も古い部類に入り、上賀茂神社とともに朝廷の崇敬を受け、平安遷都後には最高位の正一位の神階となる。5月15日の例祭「葵祭」は「京都三大祭」のひとつで優雅な王朝絵巻を再現する。

【上賀茂神社（かみがもじんじゃ）】正式名称：賀茂別雷神社（かもわけいかづちじんじゃ）

御祭神は賀茂別雷大神（かもわけいかづちのおおかみ）。本殿の北北西にある神山にご降臨になり、天武天皇の時代に現在地に社殿を造営。平安京遷都以降は、皇城鎮護の神として、歴代の天皇が行幸・奉幣祈願された。

厄除、八方除、電気の守り神、必勝の神として信仰を集めている。世界文化遺産。国宝の本殿・権殿のほか、重要文化財多数。

【御蔭神社（みかげじんじゃ）】

御祭神は玉依姫命（たまよりひめのみこと）、賀茂建角身命（かもたけつぬみのみこと）。下鴨神社の境外摂社。毎年5月12日に行われる祭礼「御蔭祭」は、少なくとも室町時代から続いていることが文献で明らかで、「葵祭」に先だって下鴨神社へ神霊を迎える神事であり、優雅な儀式として名高い。